

# コロナ禍における伊良湖岬周辺地域の活性化が必要では

伊良湖岬周辺地域の活性化策を早急に実施すべきと考えている



内藤 浩

自由民主党田原市議団



## コロナ禍における観光地域づくりに ついて

**問** コロナ禍において観光宿泊者数が激減し、本市経済にも影響することが予想され、観光戦略の見直しが必要と考えるが、今後の観光戦略の方向性は。

**答** 長期的な戦略は大きく変わるものではないが、短期・中期的にはターゲットの設定や観光ニーズへの対応など柔軟に見直しを行う必要があると考える。特に今後は3密回避という新たなニーズへの対応が重要なため、地域全体で安心・安全な取り組みを加えた地域ブランドの構築が必要と考える。



**問** コロナ禍において道の駅伊良湖クリスタルポルトが休業している中、多くの観光客が訪れている伊良湖岬周辺の活性化が早急に必要と考えるが、伊良湖岬周辺地域の観光振興の取り組みは。

**答** 伊良湖岬周辺地域は本市の観光振興の最も重要な拠点と認識している。道の駅は早期再開を運営会社に訴え続けており、あわせて伊良湖岬周辺地域の活性化策を早急に実施すべきと考えている。伊良湖岬周辺地域の多くの観光資源と周辺事業者と連携したソフト事業や今後期待される温泉資源利活用など、一体的な観光振興に取り組んでいく。



**問** 国は収入保険や漁業共済などがセーフティネットとなることから加入を推進しているが、その動向は。

**答** 収入保険は高収益作物次期作支援交付金の申請で加入検討が交付条件で、また、次年度からトマトに対する価格安定制度が導入されるため、加入者数は増加を予測している。漁業共済は渥美漁業組合、小中山漁業組合からは漁業者の関心は低いと伺っている。

**問** セーフティネットへの加入推進は。

**答** 収入保険は関心が高まっており、農業共済組合の取り組みに協力して加入推進を図る。漁業共済は漁業組合の意向把握に努める。